

# Market Flash

2020年12月10日(木)

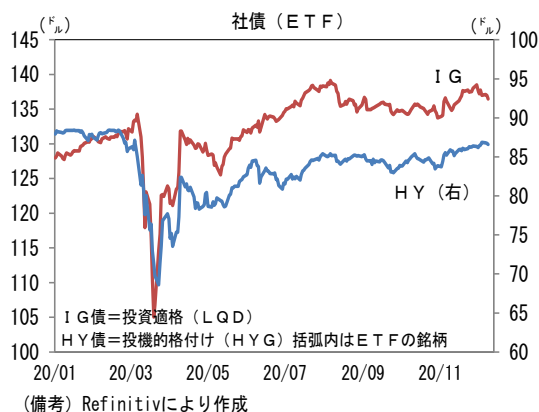
## 株式市場と関連の深いマクロ統計

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査  
主任エコノミスト 藤代 宏一 (TEL:03-5221-4523)

- ・日経平均は先行き12ヶ月26,000程度で推移するだろう。
- ・USD/JPYは先行き12ヶ月105程度で推移するだろう。
- ・日銀は現在のYCCを長期にわたって維持するだろう。
- ・FEDはゼロ金利下で資産購入を継続するだろう。

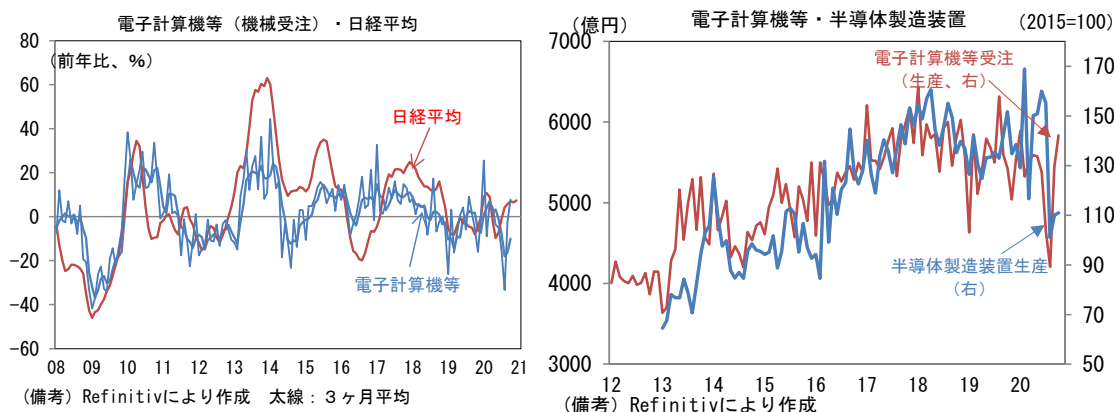
### < #機械受注# 工作機械受注# 電子計算機等 >

- ・前日の米国株は下落。NYダウは▲0.4%、S&P500は▲0.8%、NASDAQは▲1.9%で引け。高値警戒感から利益確定売り優勢。VIXは22.3へと上昇。社債市場はIG債（投資適格）、HY債（投機的格付）が共に軟調。重要な経済指標の公表はなかった。



- ・米金利カーブはツイスト・スティープ化。2年は0.149% (▲0.2bp)、10年は0.938% (+1.8bp)、30年は1.684% (+2.2bp) で引け。予想インフレ率 (10年BEI) は1.908% (+1.0bp) へと上昇しコロナ禍発生後の最高水準に到達。為替 (G10通貨) はUSDの強さが中位程度。EUR、JPYがやや弱め。USD/JPYは104前半へと上昇、EUR/USDは1.20後半へと水準を切り下げた。コモディティはWTI原油が45.5ドル (▲0.1ドル) と概ね横ばいだった一方、銅は7723.0ドル (+24.0ドル) へと上昇、それを横目に金は1834.6ドル (▲36.2ドル) へと大幅下落。安全資産「金」と景気の強さを反映する「銅」の相対価格 (銅/金) は上昇。

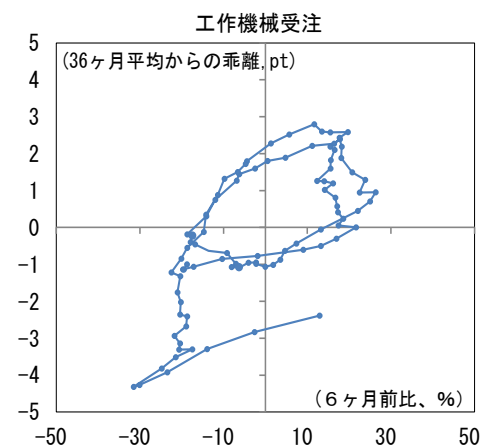
- 昨日発表の10月機械受注（内閣府）、11月工作機械受注（日本工作機械工業会）は双方ともポジティブ。11月景気ウォッチャー調査が喚起した懸念を打ち消す結果であった。
- 10月コア機械受注（民需、除船電）は前月比+17.1%と大幅増加。製造業が+11.4%、非製造業が+13.8%とそれぞれ大幅に増加した。9月は製造業が+2.0%、非製造業が+3.2%と双方ともプラスだったにもかかわらずコア機械受注全体は▲4.4%のマイナスになるという不可解な結果であったため、10月のヘッドラインの強さは幾分割り引く必要がありそうだが、企業の設備投資意欲が復調しつつあるのは事実だろう。資本財輸出の先行指標として有用な「外需」は前月比+20.7%と大幅増加。3ヶ月平均値は2019年平均値と同程度まで回復し海外経済復調を印象付けた。ドイツの資本財受注、米国の耐久財受注の回復傾向と整合的で好感すべき結果である。
- 株式市場との関連では、日経平均と連動性を有する電子計算機等（≒半導体製造装置）の受注増加が目される。10月は前年比+7.8%と6ヶ月ぶりにプラス圏浮上。筆者作成の季節調整値では前月比+7.1%。2ヶ月累積で約40%増加し、コロナ禍発生前の水準を上回った。鉱工業生産統計で半導体製造装置の大幅減産が示されていただけに、足もとの受注増加は特に好感される。



- また11月の工作機械受注もポジティブ。前年比+8.0%と2018年9月以来で初めてプラスに転じた。国内向けは▲15.2%となおマイナスも外需は+22.5%と大幅に増加。10月の確報（※速報段階は地域・業種が未公表）および報道に基づけば、米国と中国において自動車や半導体関連向け受注が増加した模様。国内も自動車、一般機械、電気機械等で持ち直しの動きがみられる。
- 縦軸にトレンド（36ヶ月平均）からの乖離、横軸に6ヶ月前比をとった循環図の位置取りは大きく前進し、今次サイクルで初めて右領域に突入した。この指標はOECD景気先行指数など世界経済の包括的指標と連動性を有し、しかも公表が早いという利点もある。トレンド転換がアナリスト予想に先行することもしばしばあるため、足もとの回復傾向は心強い。



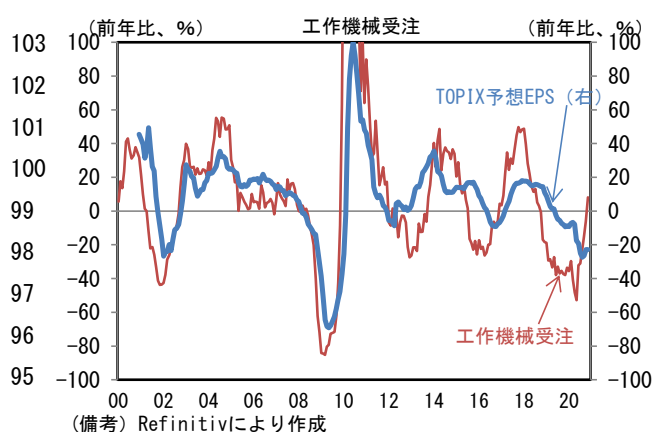
(備考) Refinitivにより作成



(備考)Refinitivより 2013.1~



(備考) Refinitivにより作成



(備考) Refinitivにより作成

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。